



2020年3月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

2019年11月1日

上場会社名	帝人株式会社	上場取引所	東証一部
コード番号	3401	URL	https://www.teijin.co.jp/
代表者	代表取締役社長執行役員 鈴木 純		
問合せ先責任者	IR部長 鳥居 知子	TEL	(03)3506-4395
四半期報告書提出予定日	2019年11月14日	配当支払開始予定日	2019年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 有 (アナリスト・機関投資家向け)		

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	436,040	△0.8	33,759	△6.7	33,083	△16.8	20,444	△39.7
2019年3月期第2四半期	439,418	8.6	36,200	△3.5	39,765	4.9	33,908	16.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,504百万円 (△96.7%) 2019年3月期第2四半期 45,827百万円 (△11.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	106.58	100.81
2019年3月期第2四半期	173.29	157.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,030,674	420,376	39.1
2019年3月期	1,020,654	427,212	40.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 403,357百万円 2019年3月期 410,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 2019年3月期の期末配当金の内訳については、普通配当30円00銭と記念配当10円00銭になります。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	860,000	△3.2	55,000	△8.3	54,000	△10.4	34,000	△24.5
								177.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1 社 （社名） Renegade Materials Corporation 除外 — 社 （社名） —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	197,953,707株	2019年3月期	197,953,707株
2020年3月期2Q	6,127,712株	2019年3月期	6,141,576株
2020年3月期2Q	191,820,413株	2019年3月期2Q	195,670,999株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

- (1) 四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しています。
- (2) 四半期決算説明会内容は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P.	2
(1) 経営成績に関する説明	P.	2
(2) 財政状態に関する説明	P.	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P.	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P.	4
(1) 四半期連結貸借対照表	P.	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P.	6
四半期連結損益計算書		
第2四半期連結累計期間	P.	6
四半期連結包括利益計算書		
第2四半期連結累計期間	P.	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P.	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P.	9
(継続企業の前提に関する注記)	P.	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P.	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P.	9
(会計方針の変更)	P.	9
(セグメント情報等)	P.	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1) 全般的状況

帝人グループの当第2四半期累計期間の連結決算は、売上高が前年同期並みの4,360億円となりました。営業利益は、マテリアル事業のアラミド繊維と国内ヘルスケア事業が堅調であったものの、ポリカーボネート樹脂の市況低迷や欧米での主力医薬品の後発品発売による売上減少により、全体で前年同期比6.7%減の338億円となりました。経常利益は為替影響による営業外損益の悪化等もあり、前年同期比16.8%減の331億円、親会社株主に帰属する四半期純利益はフィルム事業子会社譲渡に係る一時費用を特別損失へ計上したこと等により、同39.7%減の204億円となりました。

2) セグメント別概況

① マテリアル領域：欧州や中国における自動車販売減等の事業環境悪化の中、高機能材料分野を中心に一定の収益を維持したものの減益

売上高は3,258億円と前年同期比62億円の減収（1.9%減）、営業利益は129億円と前年同期比17億円の減益（11.4%減）となりました。

◆マテリアル事業

アラミド繊維分野では、主力のパラアラミド繊維「トワロン」が摩擦材、ゴム補強材等の自動車関連用途の販売数量においてやや減少したものの、売値・販売構成の改善が収益に貢献しました。

炭素繊維分野では、炭素繊維「テナックス」が航空機用途では順調に推移したものの、コンパウンド用途では前期終盤から続く市況低迷により販売が減少しました。

樹脂分野では、主力のポリカーボネート樹脂が中国・アセアンでの需要低迷の影響を受けました。

フィルム分野では、缶ラミネーション用途が堅調に推移しましたが、工程用離型フィルム「ピューレックス」の販売は低調に推移しました。なお、フィルム分野の子会社は、東洋紡株式会社に2019年10月1日付で譲渡しました。

◆繊維・製品事業

衣料繊維分野では、国内外の市況影響により素材・製品ともに苦戦しました。産業資材分野では、自動車関連部材が欧州や中国の自動車販売不振の影響を受けましたが、インフラ補強材や水処理向けポリエステル短繊維の販売は好調を維持しました。

◆複合成形材料事業ほか

複合成形材料分野では、北米のピックアップトラックやSUV等の需要増を背景に、米国Continental Structural Plastics社の自動車向け量産部品の販売が堅調に推移しました。一方、2019年7月にオハイオ州の生産拠点が暴風雨の影響を受け、一時費用が発生しました。

② ヘルスケア領域：国内における「フェブリク」や在宅医療は好調だが、欧米での同医薬品が後発品影響を受け減益

売上高は789億円と前年同期比15億円の減収（1.9%減）、営業利益は194億円と前年同期比24億円の減益（11.1%減）となりました。

医薬品分野では、国内市場において、高尿酸血症・痛風治療剤「フェブリク」が順調に販売を拡大しましたが、欧米では後発品の影響を受けました。

在宅医療分野では、睡眠時無呼吸症候群治療における在宅持続陽圧呼吸療法（CPAP）市場において、機器のレンタル台数が順調に伸長しました。また、在宅酸素療法（HOT）市場においても、携帯型酸素濃縮器の積極展開等により、高い水準のレンタル台数を維持しました。

新規ヘルスケア分野では、埋め込み型医療機器事業の業績が堅調に推移しました。

③ その他

売上高は314億円と前年同期比44億円の増収（16.2%増）、営業利益は39億円と前年同期比13億円の増益（51.3%増）となりました。

IT事業では、電子コミック配信サービス及び病院向けITサービス事業が順調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産、負債、純資産の状況

総資産は、保有意義が希薄化した株式の売却等で投資有価証券は減少した一方、IFRS第16号「リース」の適用により有形固定資産が増加し、前期末対比100億円増加の10,307億円となりました。

負債は、社債の発行やIFRS第16号「リース」の適用による有利子負債の増加等により、前期末対比169億円増加の6,103億円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少等により、前期末対比68億円減少の4,204億円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、416億円の資金収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資等の実施により、487億円の資金支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、社債の発行や短期借入金の増加等により、243億円の資金収入となりました。

最終的な現金及び現金同等物の増加額は現金及び現金同等物に係る換算差額も加えた結果、140億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の実績や世界経済の今後の見通し等を考慮し、2019年8月2日に発表した通期の連結業績予想を以下のとおり修正します。その際、第3四半期以降の為替レートは1米ドル=108円、1ユーロ=120円、また原油価格(Dubai)は第3四半期以降の平均でバレル当たり60米ドルを想定しています。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	9,000	600	600	410
今回修正予想 (B)	8,600	550	540	340
増減額 (B-A)	△400	△50	△60	△70
増減率	△4.4%	△8.3%	△10.0%	△17.1%
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	8,886	600	603	451

(参考) セグメント別業績見通し

(単位：億円)

	売上高		営業利益	
	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期
マテリアル	3,258	6,440	129	235
ヘルスケア	789	1,500	194	310
その他	314	660	39	80
消去又は全社	-	-	△25	△75
合計	4,360	8,600	338	550

記載されている商品やサービスの名称等は、帝人グループまたは該当する各社の商標もしくは登録商標です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	100,592	111,726
受取手形及び売掛金	194,241	178,015
有価証券	33,000	36,000
商品及び製品	98,727	103,677
仕掛品	11,556	12,361
原材料及び貯蔵品	35,597	35,136
その他	50,722	48,939
貸倒引当金	△582	△382
流動資産合計	523,854	525,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,159	63,087
機械装置及び運搬具(純額)	105,908	108,551
その他(純額)	97,819	111,368
有形固定資産合計	267,887	283,006
無形固定資産		
のれん	32,845	36,315
その他	36,664	34,615
無形固定資産合計	69,510	70,930
投資その他の資産		
投資有価証券	96,179	88,082
その他	64,894	64,803
貸倒引当金	△1,670	△1,620
投資その他の資産合計	159,403	151,264
固定資産合計	496,800	505,200
資産合計	1,020,654	1,030,674

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	93,499	81,213
短期借入金	104,265	116,166
1年内返済予定の長期借入金	7,662	27,589
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
未払法人税等	6,879	4,844
事業構造改善引当金	81	1,231
その他	72,819	59,369
流動負債合計	300,205	305,412
固定負債		
社債	20,039	35,031
長期借入金	220,583	203,300
事業構造改善引当金	—	3,153
退職給付に係る負債	37,553	37,361
資産除去債務	2,645	2,624
その他	12,417	23,415
固定負債合計	293,237	304,885
負債合計	593,442	610,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	71,833	71,833
資本剰余金	104,256	103,742
利益剰余金	235,324	248,084
自己株式	△13,412	△13,381
株主資本合計	398,000	410,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,720	20,204
繰延ヘッジ損益	△52	△819
為替換算調整勘定	△11,402	△24,246
退職給付に係る調整累計額	△2,538	△2,059
その他の包括利益累計額合計	12,728	△6,920
新株予約権	889	891
非支配株主持分	15,595	16,128
純資産合計	427,212	420,376
負債純資産合計	1,020,654	1,030,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	439,418	436,040
売上原価	303,301	300,360
売上総利益	136,117	135,680
販売費及び一般管理費	99,916	101,921
営業利益	36,200	33,759
営業外収益		
受取利息	508	533
受取配当金	1,297	808
持分法による投資利益	1,361	1,058
為替差益	—	1,920
デリバティブ評価益	4,306	—
雑収入	649	349
営業外収益合計	8,121	4,668
営業外費用		
支払利息	1,717	1,887
為替差損	1,843	—
デリバティブ評価損	—	2,051
雑損失	997	1,406
営業外費用合計	4,557	5,344
経常利益	39,765	33,083
特別利益		
固定資産売却益	269	28
投資有価証券売却益	3,595	3,810
受取和解金	4,500	—
その他	173	518
特別利益合計	8,537	4,356
特別損失		
固定資産除売却損	898	1,072
減損損失	3,941	1,988
事業構造改善費用	15	4,382
その他	105	1,021
特別損失合計	4,958	8,463
税金等調整前四半期純利益	43,344	28,977
法人税等	8,767	7,721
四半期純利益	34,578	21,255
非支配株主に帰属する四半期純利益	670	812
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,908	20,444

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	34,578	21,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,121	△6,627
繰延ヘッジ損益	△379	△766
為替換算調整勘定	5,969	△12,457
退職給付に係る調整額	△347	435
持分法適用会社に対する持分相当額	△115	△336
その他の包括利益合計	11,249	△19,752
四半期包括利益	45,827	1,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,523	796
非支配株主に係る四半期包括利益	1,304	708

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	43,344	28,977
減価償却費及びその他の償却費	23,386	25,054
減損損失	3,941	1,988
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	859	855
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△1,038	△332
未払金の増減額 (△は減少)	△4,417	△5,294
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△1,139	4,303
受取利息及び受取配当金	△1,805	△1,341
支払利息	1,717	1,887
持分法による投資損益 (△は益)	△1,361	△1,058
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,592	△3,799
受取和解金	△4,500	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,086	13,337
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,044	△6,379
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,613	△8,616
その他	△3,631	123
小計	31,246	49,705
利息及び配当金の受取額	3,500	3,039
利息の支払額	△1,634	△1,870
和解金の受取額	4,500	—
法人税等の支払額	△3,698	△9,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,915	41,575
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,496	△33,760
有形固定資産の売却による収入	282	45
無形固定資産の取得による支出	△1,338	△1,958
投資有価証券の取得による支出	△1,753	△4,959
投資有価証券の売却による収入	3,727	7,954
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△15,952	△12,681
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	1,056	—
事業譲受による支出	—	△906
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△437	△1,286
その他	△1,365	△1,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,276	△48,667
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	61,087	13,024
社債の発行による収入	—	15,000
長期借入れによる収入	340	5,940
長期借入金の返済による支出	△16,001	△888
自己株式の取得による支出	△20,008	△6
配当金の支払額	△5,935	△7,672
非支配株主への配当金の支払額	△321	△429
その他	△348	△681
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,814	24,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	886	△3,246
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,339	13,949
現金及び現金同等物の期首残高	116,158	140,434
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	202	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	62
現金及び現金同等物の四半期末残高	127,699	154,444

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項**(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

帝人グループのIFRS適用子会社は第1四半期連結会計期間の期首から、IFRS第16号「リース」を適用しています。これに伴い、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産およびリース債務を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース債務に係る支払利息を計上しています。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。この結果、第1四半期連結会計期間期首の有形固定資産その他（純額）が9,458百万円、流動負債その他が847百万円、固定負債その他が8,611百万円それぞれ増加しています。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	マテリアル	ヘルスケア	計		
売上高					
(1)外部顧客への 売上高	331,975	80,445	412,420	26,997	439,418
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,162	1	1,162	3,520	4,683
計	333,136	80,446	413,583	30,518	444,100
セグメント利益	14,569	21,865	36,433	2,552	38,985

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITサービス分野等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	36,433
「その他」の区分の利益	2,552
セグメント間の取引消去	107
全社費用(注)	△2,891
四半期連結損益計算書の営業利益	36,200

(注) 全社費用は配賦不能営業費用であり、その主なものは本社管理部門に係る費用です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「マテリアル」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に3,752百万円の減損損失を計上しています。

(のれんの金額の重要な変動)

「マテリアル」セグメントにおいて、J.H. Ziegler GmbHを主要な事業会社とするBrick Holding GmbH(持株会社)の全株式を取得したことにより、当第2四半期連結累計期間にのれんが11,527百万円発生しています。なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	マテリアル	ヘルスケア	計		
売上高					
(1)外部顧客への 売上高	325,754	78,928	404,682	31,358	436,040
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	440	16	456	3,771	4,227
計	326,194	78,945	405,138	35,129	440,267
セグメント利益	12,911	19,445	32,357	3,861	36,217

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITサービス分野等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	32,357
「その他」の区分の利益	3,861
セグメント間の取引消去	△14
全社費用(注)	△2,444
四半期連結損益計算書の営業利益	33,759

(注) 全社費用は配賦不能営業費用であり、その主なものは本社管理部門に係る費用です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「マテリアル」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に1,183百万円の減損損失を計上していません。

(のれんの金額の重要な変動)

「マテリアル」セグメントにおいて、Renegade Materials Corporationの全株式を取得したことにより、当第2四半期連結累計期間にのれんが6,006百万円発生しています。なお、のれんは、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。